

WAIJICO

コミセンであなたと、「つながる」

01

2013 SPRING

コミセンわじろ 情報誌「ワジコ」

創刊号

Index

P02 — 創刊のご挨拶
「つながるコミセンわじろ」
マネジメントグループ 代表 倉重 一男

P04 — TOPICS
●指定管理 2 年目スタート
●トレーニングルームが新しくなりました

P03 — わじろ元気印 / 団体紹介
第一回 和白干潟を守る会

P04 — HOW TO
コミセンわじろ活用 会議室編
シェイプアップ&ヨガ体験！



写真は、「和白干潟を守る会」のみなさんの活動風景

TOPICS コミセンわじろの気になる情報をお届けします！

指定管理 2 年目スタート

昨年度は初めての指定管理を、グループ一丸となって全力で取り組んで参りました。本年はより地域とつながるコミセンをテーマに、利用者のみなさまに満足いただけるコミュニティセンターを目指します。ますますのご利用を、心よりお待ちしております。（コミセンスタッフ一同）



トレーニングルームが新しくなりました

新年度からより広い利用者の方が楽しめるトレーニングルームをコンセプトに、エアロバイク、ステップマシン、ウェイトリフティング用マシンやマッサージ機が新しくなりました。床も全面貼り変えまして、早くも多くの利用者でにぎわっています。これを機会に、スポーツが身近な生活を新年度から始めてみませんか？フレッシュなスポーツ指導員も手厚く指導しますよ。お待ちしております。



HOW TO 地域の皆様の「こんな風に使いたいなあ」というニーズに真剣にお応えします。

会議室編

室内でもリフレッシュ！シェイプアップ&ヨガ体験！

第1会議室で行われているヨガ教室に参加してみました。前半 30 分はシェイプアップタイム。筋トレ、ストレッチなどウォーミングアップ的な運動をします。後半 40 分はソフトヨガ。生徒さんがそれぞれ準備したマットの上で、呼吸を整えたり調整をしながら、さまざまなヨガのポーズを取っていきます。リラックスできる音楽も流れ、ここが会議室であることを忘れそうでした。

第1会議室は防音の仕様ですので、カラダを動かす教室や、地元の音楽サークルなどにもご利用いただけます。「活動や参加できる場所が欲しいなあ」とお悩みの方。上手に利用できるかも。是非、コミセンわじろスタッフに気軽にご相談くださいませ。



ポイント
ここが

1. 防音で音楽が流せる！
2. 意外と広い！

コミセンわじろ
WAJIRO Regional Community Center

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで（多目的ホールは午後10時まで）

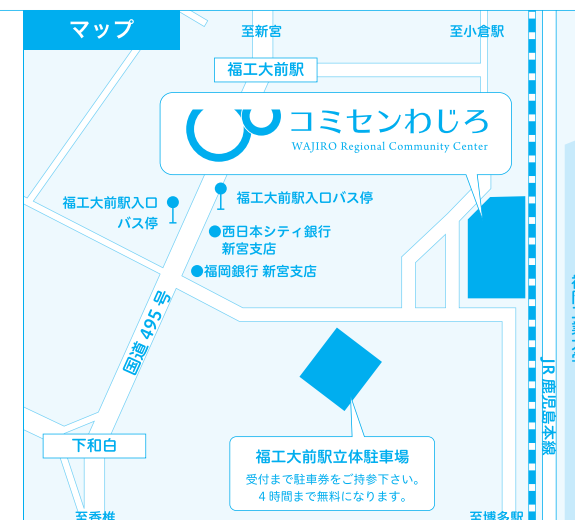
【休館日】毎月最終月曜（祝日のときは翌日）、及び年末年始（12/28～1/3）

詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info/>

コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro





▲ みんなで楽しく活動する様子



▲ クロツラヘラサギなど野鳥が訪れる



わじろげんきじろし / 団体紹介

このコーナーでは、和自5校区などの地域を拠点にして精力的に活動を続けている団体さんをご紹介します。

日本有数の自然の海の姿が残る 和白干潟を守っていききたい

第一回―和白干潟を守る会

記念すべき第1回は、「和白干潟を守る会」です。代表の山本廣子さんに、これまでの活動の経緯、活動の楽しさなどを語ってもらいました。

活動について教えてください。

「私たちは団体の名前通り、日本の昔ながらの自然海岸の景色と生態系を残す和白干潟を守るための、自然観察や環境保全の活動を行っています。」

活動のそもそものきっかけは？

「26年前、この貴重な干潟を埋め立てる計画を知り、三〇〇名の署名や請願書を提出したりする中で、「和白干潟を守る会」が発足しました。手づくりの情報誌を配ったりすることで反対の声を広げていきました。環境庁や県知事も意見書を提出してくれて、和白干潟は埋め立てを逃れ、その姿を残すことができました。現在でも日本有数

の景観が残る場所として知られています。」

やっていて面白うところは？

「この四季は本当に豊かなんです。干潟を訪れるクロツラヘラサギなどの野鳥たち、カニ、植物など。自然と触れ合うことを楽しみなが活動できる魅力があります。そして子どもも大人も同時に干潟の自然を楽しみながら、自分たちの大切な場所を守ろうとする意識が高まっていく。自然観察会と清掃活動を中心として、これからもやっていきたいですね。」

今後の展開を教えてください。

「行き過ぎた埋め立てや干拓から干潟を守るため、国指定鳥獣保護区の特別保護地区に指定されること、そして水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約、一般的には『ラムサール条約』と呼ばれている



▲ 活動中の山本さん

条約の登録湿地になることを目標としています。そのため活動は続けていきますし、先日はコミセンわじろさんでも講演会を行いました（※4月6日）。毎月のクリーン作戦など、いつも活動を宣伝させていただいています。これからも地域みなさんとともに、和白干潟を守るための活動を続けていこうと思います。」



▲ 自然観察会などを行っている

「私も地域活動をしてみたい！」 という方はコチラ

地域のボランティアから NPO の立ち上げ、活動の広報などいろんな地域に関わる相談は、地域相談員までお気軽にご相談ください。地域相談員は、毎週火曜日～土曜日の 10:00～18:00 に、2F 受付でお待ちしております。

【今回の活動団体の情報】

和白干潟を守る会

【住所】福岡市東区和白 1-14-37 【電話】092-606-0012

【mail】qq133ptm9@wing.ocn.ne.jp 【HP】http://www14.ocn.ne.jp/~hamasigi/

この活動に参加してみたい方はコチラまで

◎「クリーン作戦と自然観察」

【日時】毎月第4土曜日 15:00～17:00

【場所】「海の広場」集合 【連絡先】090-1346-0460（田辺）

◎「和白海岸探鳥会」

【日時】毎月第2日曜日 9:00～12:00

【場所】JR 和白駅前公園集合 【連絡先】092-606-0012（山本）

―創刊のご挨拶―

コミセンわじろ情報誌 「WAJICO」創刊にあたり

「つながるコミセンわじろ」マネジメントグループ代表 倉重 一男（三笠特殊工業㈱ 代表取締役）



この度、福岡市和白地域交流センター「コミセンわじろ」の情報誌を創刊するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当施設の管理運営に平成 24 年 4 月 1 日より「つながるコミセンわじろ」マネジメントグループが関わらせていただいて、あっという間の 1 年が過ぎようとしています。

「つながるコミセンわじろ」マネジメントグループは、今後もスタッフ一同コミセンわじろの指定管理者としてより一層、利用者の皆様に喜ばれ、地域につながる管理運営を目指していく所存であります。

そんな中、私どもグループは和白地域の魅力や地域の方々のすばらしい活動の情報などを情報誌「WAJICO」として発信し共有することで、一層のつながりを深め、広げていきたいと考えております。

また、地域の皆様がもっと気軽に施設をご利用いただけるように、地域コミュニティに「つながる」活動に対応するため、地域相談窓口を設置しており地域相談員も常駐させていただいております。

地域相談員は地域の魅力や活動情報の発信のための取材を行ったり、地域活動のサポートやアドバイスなど積極的な支援を行ってまいりますので、地域の皆さまには是非ご活用いただければと思います。

今回、情報誌「WAJICO」を創刊するにあたり、私どもの構成グループである NPO 法人 九州コミュニティ研究所のスタッフと共に地域への想いや情熱をもって、有意義で楽しめる内容を制作し、発信してまいります。

最後になりますが、これまで以上に地域と「つながる」ことを目指して一生懸命頑張って参りますので、ご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

地域相談員を、ぜひご活用ください

コミセンわじろでは平成 24 年度から、地域のコミュニティ活動のアドバイス、サポートや支援を行う「地域相談員」が常駐しています（毎週火曜日～土曜日、朝 10:00～18:00）。「私たちのまちで、仲間と何か新しいこと、いいことを始めたい」「ボランティア活動をやってみたい」「情報を発信してメンバーを集めたい」「作品を発表する場所が欲しい」など、みなさまの困ったこと、ちょっと足りないことなどがございましたら、是非ご相談ください。

情報誌「WAJICO」が目指すもの

名前の由来は「和白の子ども」「和白っ子」という意味からです。この情報誌が地域から生まれるものであり、地域のみなさまに愛される存在になりたいという願いを込めて名付けました。元気でいきいきとしている住民のみなさまのコミュニティ活動の紹介や、地元和白5校区が誇る文化や歴史など愛すべき部分も紹介するなど、地元を盛り上げる一翼を担う情報誌をつくりたいと思っています。どうぞみなさま、よろしくお願いいたします。